



第2回学校評価の集計結果

保護者の皆様にご協力いただきました「本校の教育活動についての第2回保護者アンケート」の集計結果並びに「第2回児童アンケート」の集計結果が出ましたので、お知らせいたします。
アンケートの実施にあたっては、それぞれの評価項目について、A(よくあてはまる)、B(だいたいあてはまる)、C(あまりあてはまらない)、D(あてはまらない)でお答えいただきましたが、今回のアンケート調査は、次のような考え方で実施しています。

- 保護者アンケートについては、第1回でA+Bの合計(肯定率)が目標値に達しなかった具体的アンケート項目のみを対象にする。
- 児童アンケートについては、第1回でC+Dの合計(否定率)が10%以上だった具体的アンケート項目のみを対象にする。
- 保護者アンケートの結果は、第1回の数値(A+Bの合計%)と第2回の数値(A+Bの合計%)を比較して、肯定率の数値の比較結果を見ることとする。
- 児童アンケートの結果は、第1回の数値(C+Dの合計%)と第2回の数値(C+Dの合計%)を比較して、否定率の数値の比較結果を見ることとする。

なお、表中の「比較結果」欄については、第1回目の数値よりも第2回目の数値の方が良かった場合は「↑」、悪かった場合は「↓」、同じであった場合は「→」で表しています。

評価対象	I 確かな学力の向上	V 読書指導の充実
	II 豊かな心の育成	VI 保護者・地域・関係団体との連携
	III 心身ともに健康な体の育成	VII 安全管理の徹底・安全指導の充実
	IV アウトメディアの指導の徹底	

保護者アンケートの結果						
	評価項目	具体的アンケート項目(保護者用)	目標値	第1回保護者(A+B)	第2回保護者(A+B)	比較結果
I	『北小家庭学習の手引き』	③ お子さんは、『北小家庭学習の手引き』で決められた家庭学習(低学年30分、中学年40分、高学年60分)を毎日行っていますか。	80%	75%	74%	↓
	『北小学習10のルール』	④ お子さんは、『北小学習10のルール』を守って学習に取り組んでいると思いますか。	80%	73%	82%	↑
II	いじめの未然防止	⑦ お子さんは、友達が嫌な気持ちにならないように、いつも気をつけてしゃべったり行動したりしていると思いますか。	90%	88%	91%	↑
III	学校での外遊び	⑩ お子さんが、登校後・25分休み・昼休み・放課後に、毎日1回は外遊びをするように、折に触れて繰り返し声掛けをしていますか。	80%	75%	82%	↑
	歯と口の病気の即時治療完了	⑪ 治療勧告は受けなかった。 又は、治療勧告を受けたむし歯を治して『治療完了報告書』を提出した。	100%(Aのみ)	79%	92%	↑
IV	『北小電子メディア利用のきまり』	⑫ お子さんは、『北小電子メディア利用のきまり』(1日45分以内)を毎日必ず守っていますか。	90%	65%	57%	↓
V	学校図書館の利用・読書習慣の定着	⑬ お子さんは、家庭で毎日、読書や音読をしていますか。	90%	74%	68%	↓

児童アンケートの結果						
			(C+D)	(C+D)	結果	
III	歯や口の病気の即時治療完了	④ 歯や口の病気を治しましたか。	100%	16%	9%	↑
IV	『北小電子メディア利用のきまり』	⑫ 『北小電子メディア利用のきまり』(1日45分以内)を、毎日必ず守っていますか。	90%	24%	32%	↓
V	学校図書館の利用・読書習慣の定着	⑬ 家で毎日読書や音読をしていますか。	90%	19%	23%	↓

結果から分かることと今後の対策について

第2回目の学校評価の結果を第1回目の結果と比較し、それぞれの項目で設定した目標値を上回ったもの、逆に下回ったものについて整理しました。そして、目標値を下回ったものについては、改善策を提案させていただきました。保護者の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

【目標値を上回ったもの】

《保護者》

- I 確かな学力の向上の『北小学習10のルール』
1回目より9%向上。目標値を2%上回り、82%でした。
- II 豊かな心の育成のいじめの未然防止
1回目より3%向上。目標値を1%上回り、91%でした。
- III 心身ともに健康な体の育成の学校での外遊び
1回目より7%向上。目標値を2%上回り、82%でした。

『目標100%』

- III 心身ともに健康な体の
歯と口の病気の即時治療完了
1回目より13%向上。
目標値まで、あと6%でした。
《児童》は、1回目より7%
向上。治療完了まで、あと
9%でした。

【目標値を下回ったもの】

I 確かな学力の向上の『北小家庭学習の手引き』

- 《保護者》1回目より1%減少。目標値を6%下回り、74%でした。
- IV アウトメディアの指導の徹底の『北小電子メディア利用のきまり』
《保護者》1回目より8%減少。目標値を33%下回り、57%でした。
《児童》1回目より8%減少。目標値を32%下回り、58%でした。
- V 読書指導の充実の学校図書館の利用・読書習慣の定着
《保護者》1回目より6%減少。目標値を22%下回り、68%でした。
《児童》1回目より4%減少。目標値を23%下回り、67%でした。



これからの3つの取り組み

確かな学力の向上

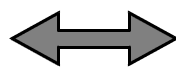
お子さんが、『北小家庭学習の手引き』で決められた家庭学習(低学年 30分、中学年 40分、高学年 60分)を毎日行えるようにし、家庭学習に取り組める習慣をつけます。

そのために、

- 学校は ○手引きを基に家庭学習の方法を教えます。
○自主的に勉強することを見つける機会をつくります。
- 家庭は ○家庭学習する時間を決めて取り組めるようにしてください。
○継続した学習が出来た時には、その頑張りをほめてあげてください。



アウトメディアの指導の徹底



読書指導の充実

『北小電子メディア利用のきまり』(1日45分以内)を毎日必ず守れるようにします。

そのために、

学校は

- 電子メディアの望ましい利用の仕方や弊害等について指導します。
- 学校だより等において、『北小電子メディア利用のきまり』について各家庭に周知していきます。

家庭は

- 電子メディアを利用する時間を決めて取り組めるようにしてください。
- 継続してきまりを守ることが出来た時には、その頑張りをほめてあげてください。

お子さんが、家庭で毎日、読書や音読できるようにします。

そのために、

学校は

- 読み聞かせやおすすめ本の紹介など、図書館の有効活用を図り、読書に関心をもてるような機会をつくります。
- 音読や読書を宿題とし、音読や読書の大切さを継続的に伝えていきます。

家庭は

- 宿題で出た音読をしっかりと聞き、励ましの声かけをお願いします。
- メディア利用のきまりを守ることで生じる時間には、家族でぜひ、読書をしてください。

A「よくあてはまる」B「だいたいあてはまる」を合わせて80%以上となることを目標とし、それを上回るものをよい結果と考えました。さらに、教育活動アンケートと生活アンケート、また第1回目と第2回目のアンケート結果を比較し、改善が見られたものとそうでないものをまとめました。

よい結果があらわれている

点

○保護者の連携がうまくいっている

9割以上の保護者が、「学校や子どもの成長の様子が分かる」と教育活動アンケートに回答していました。また、授業参観後の懇談会に出席している保護者も、常に9割!

を超えており、学校と保護者との連携がうまく図られています。

○健康に気を付けた生活をおくっている

生活アンケートから、ほぼ全ての児童が、朝食を食べて登校しています。給食を好き嫌いなく、きちんと食べようとしている児童も9割近くと、児童自身も健康に注意した生活を送っています。教育活動アンケートでも、規則正しい生活を送っていると思う保護者が目標の9割を超えています。

○温かい人間関係が育っている

相手の立場や気持ちを考えた言動がとれる児童が増えていることが、教育活動アンケートから分かります。また、生活アンケートにも、「いじめや仲間はずれをしない」とこたえている児童がほとんどで、相手を思いやり仲良くしようとしている様子が分かります。また、「学校生活は楽しい」とこたえている児童や、「授業は楽しく分かりやすい」とこたえている児童が多いことから、菱小学校の児童は、学校生活に対して満足している様子がうかがえます。

○約束を守って生活することができる

交通ルールを守って歩行したり自転車に乗ったりすることのできる児童が多いことは、保護者と児童の両方のアンケートから分かります。さらに、「学習に必要なものを持ってこない」「外出の時には行き先を伝える」など、生活の決まりや約束を守る態度も育ってきています。

考えてほしい点

○宿題がなくても、自分で勉強することを見つけて、家庭学習することができていますか

教育活動アンケートでは、進んで学習したり読書したりする習慣が育ってきているという結果が、A・B合わせると8割以上です。ところが、生活アンケートでは、自分から勉強することを見つけて家庭学習することができていない児童が、7割以下という結果になっています。学習習慣は身につけていても、自主性という面で一層努力が必要になるようです。

○進んであいさつできる子どもになっていますか

9割の児童が進んであいさつできるようにという目標には、なかなか達成できていません。児童は、家でも学校でも、あいさつができていないと、生活アンケートに回答しています。児童はあいさつが出来てつもりでいても、相手には伝わっていない現状が分かります。

○交通安全に注意していますか

「登下校は決められた道路を歩いて交通ルールを守っている」「自転車に乗るとき交通ルールを守り安全に乗っている」という児童がほぼ100%です。ところが、地域の方から、「登校時に2列になってふざけて歩いている」という話や、「自転車で飛び出しをする児童がいる」という話が聞こえてきています。交通安全には十分注意してほしいと思います。

○大きくなったときの夢や希望について、家族の人と話し合っていますか

児童の生活アンケートにおいて、将来の夢や希望について家の人と話し合っているとこたえている児童は、2回のアンケートを通して7割程度でした。ご家庭において、親子の会話の中に、大きくなったときの夢や希望を聞いてあげる機会をつくってほしいと思います。

○菱町の行事に参加していますか

菱町が好きな児童が、ほぼ全員です。また、学校では菱町の人材や施設・自然・史跡などを十分に活用しているという結果が出ています。ところが、菱町の行事に参加しているかという点、教育活動アンケート、生活アンケートのどちらをみても、目標としている8割には届いておりません。公民館まつりや地域で行われている行事に積極的に参加すると、よりいっそう菱町を好きになることができるのではないのでしょうか。

これからの学校の取組と保護者の方へのお願い

アンケート結果から、「保護者の連携がうまくいっている」「健康に注意した生活をおくっている」「温かい人間関係が育っている」「約束を守って生活することができる」という、菱小学校の児童のよい面が見えてきました。このすばらしいところを、認めてあげてほしいと思います。そして、さらによりよい面が伸びていくように応援してあげてください。

第2回学校評価の「分析結果(ⒶⒷ)」と「お願い(⇒)」

- ① 『北小学習10のルール』については、第1回は肯定率が79%で目標値の80%に達しなかったが、第2回は肯定率が84%に伸び、目標値を4%上回った。
- ② 「いじめの未然防止」については、第1回は肯定率が89%で目標値の90%に達しなかったが、第2回は肯定率が92%に伸び、目標値を2%上回った。
- ③ 「学校での外遊び」については、第1回は肯定率が70%で目標値の80%に達しなかった。第2回は肯定率が79%に伸びたが、目標値を1%下回った。

⇒ 「登校後・25分休み・昼休み・放課後に、毎日1回は外遊びをする」についての児童の否定率は14%だったので、約26人の児童がほとんど(まったく)外遊びをしていないということになります。外遊びは小学生にとってもっとも手軽で毎日取り組める効果的な体力向上策であるので、1日1回は外遊びをするように、家庭でも繰り返し声掛けをお願いいたします。

- ④ 「歯と口の病気の即時治療完了」については、第1回は肯定率が82%で目標値の100%に達しなかった。第2回は肯定率が95%に伸びたが、目標値を5%下回った。

⇒ これまでに何度も治療勧告や指導を繰り返していますが、2月末の時点で、『治療完了報告書』が提出できていない児童が3名(乳歯のむし歯)います。病気の治療はすべてのことに最優先されるべき事柄であるので、早急に治療を完了するようにお願いいたします。

- ⑤ 『北小電子メディア利用のきまり』については、第1回は肯定率が70%で目標値の90%に達しなかった。第2回は肯定率が79%に伸びたが、目標値を11%下回った。

⑥ 第1回・第2回ともに否定率が23%で、90%の目標値を13%下回った。

⇒ 『北小電子メディア利用のきまり』では、「1日の利用時間は45分以内」となっていますが、「C:あまり守っていない D:ほとんど守っていない」と回答した児童は、すでに“ゲーム中毒”や“ネット依存”もしくは“その予備群”になっていると考えられます。

電子メディアを利用して遊ぶのは帰宅後になるので、家庭学習の時間(低学年30分以上、中学年40分以上、高学年60分以上)の確保、読書や音読の時間の確保、メディア漬けを未然に防止するなどの観点から、罰則規定も含めた家庭内ルールをきちんと設定し、しっかりと守らせるような子どもへの関わり方をしていただけるようお願いいたします。

中学校や高校で学業に専念し、SNSによる問題行動=犯罪被害に絶対に巻き込まれないようにするためにも、小学生のうちから電子メディアの利用時間や利用方法を自己管理できる力を身に付けさせていくことが必要だと思えます。

- ⑥ 「学校図書館の利用・読書習慣の定着」については、第1回は肯定率が79%で目標値の90%に達しなかった。第2回は肯定率がさらに71%まで下がり、目標値を29%下回った。

⑦ 第1回では否定率が10%であったが、第2回では否定率が23%となり、90%の目標値を13%下回った。

⇒ 12月に実施した『北小児童の家庭学習時間等に関する調査』の質問「お子さんは、土曜日・日曜日も含めて、1日平均何分くらい読書(漫画、雑誌、ゲーム攻略本、新聞などは含めない)を行っていますか?」の結果は以下のようになっています。

	0分～	5分～	10分～	15分～	20分～	30分～	45分～	60分～	平均時間
合計(178人)	27	22	55	20	19	23	1	11	17分
%	15.2	12.4	30.9	11.2	10.7	12.9	0.5	6.2	

学校でも担任や図書館管理補助員が色々な工夫を行って、読書習慣の定着に努めています。が、「0分～:27人」「5分～:22人」に該当する児童については、家庭においても少しずつ読書習慣が身に付いていくような関わり方をしていただけるようお願いいたします。

- ⑥ 「学級懇談会への出席」については、第1回では肯定率が87%で、目標値の80%に達していたが、第2回では肯定率が否定率が79%となり、80%の目標値を1%下回った。
なお、学級懇談会が行われた際の各クラスの出欠簿から学校全体の参加率をまとめると、以下のようになり、学校評価のアンケート結果とは若干数値が異なっています。

学級懇談会への参加率	4月	6月	オープンスクール	11月	2月
	78%	76%		69%	79%

⇒ 学級懇談会は、担任と保護者が同じ目標や課題、価値観を共有して、同一歩調で連携・協力しながら子どもを育てていくために欠かせないものですから、万障繰り合わせて、ぜひ出席していただけるようお願いいたします。

